

報道関係者の皆様へ

雲南市
株式会社エアロネクスト
株式会社NEXT DELIVERY
セイノーホールディングス株式会社**【10/21(月)以降 報道関係者様公開】**
島根県雲南市でドローンも活用した新スマート物流の長期実証実験
～雲南市における新スマート物流SkyHub®の社会実装に向けて～

2024年10月21日より雲南市において、SkyHub®の(仮)ドローンデポ®を設置し2ヶ月間のサービスを実施します。

※ドローンデポ®・・・既存の陸上物流とドローン物流との接続点に設置される荷物の集積・
配送の拠点であり倉庫で、荷物をドローン配送できる仕組みを持つ倉庫つきましては、下記のとおりにて長期実証実験を実施します。
ご多忙の折、誠に恐縮ですが万障お繰り合わせの上、何卒ご来訪賜りますようお願い申し上げます。

<実施概要>

- 期間 2024年10月21日(月)～12月20日(金)
- 営業時間 月曜～金曜(祝日を除く) 9:00-18:00
- ドローンデポ® 道の駅掛合の里 交流の館 (〒690-2701 島根県雲南市掛合町掛合1800)
- 実施サービス
 - ・SkyHub® Delivery (買い物代行サービス)
 - ・SkyHub® Eats (フードデリバリー)
- ※その他可能な範囲で対応予定
- 対象地域 掛合町にお住まいの方
- 配送手段
 - ・陸送 (軽バンでの配送)
 - ・空送 (ドローンでの配送)
- ドローン着陸地点
 - ①多根交流センター
 - ②入間交流センター
- ※順次飛行ルートを増築予定
- 飛行ルート図



※引用元: Google map

※開始式等のイベントは実施いたしません。期間中、ご取材のご要望がある場合には下記の問合せ先までご連絡のほど、よろしく申し上げます。

情報解禁は、10/21(月)以降と致します。本案内状からの記事化はご遠慮ください。

本件に関する問い合わせ
雲南市 政策推進課担当 : 武田 TEL 0854-40-1011
NEXT DELIVERY 広報担当 : 伊東 TEL 090-4611-4223



今回の長期実証実験について

1. 背景

雲南市は、島根県の東部に位置し、松江市、出雲市に隣接し、南部は広島県に接している。総面積は、553.18km²であり、その大半が山間部で集落が点在している。

雲南市は、過疎化・高齢化が進む典型的な中山間地域であり、人口は年々減少している。国勢調査によると、平成27年39,032人から令和2年36,007人へと5年間で7.8%（3,025人）減少している。加えて若年者比率が縮小傾向にある一方、高齢化率は40%を超え、若者の流出や少子高齢化が進んでいる。この高齢化の進行や青少年層の減少で、地域社会の正常な継承、発展が困難な状態となりつつある。特に若者の流出は出生率の低下につながり、後継者不足、地域の活力の低迷、児童の減少による学校教育への影響など住民生活に様々な問題が生じ、将来的には世帯の維持が困難となり、地域の存続が憂慮される。高齢化が進み免許返納が増加する中で、日常の買い物や移動など生活利便性の維持が地域課題となっている。

そのような背景を受け、2022年9月に雲南市、セイノーHD、エアロネクストの3者は、ドローンを含む次世代高度技術活用により地域課題の解決に貢献する新スマート物流の構築に向けた包括連携協定を締結し、2023年3月には、道の駅掛合の里とはたマーケットを物流拠点として設定し、ここを起点としたドローン配送を実施した。その後新スマート物流の社会実装に向けて検討を重ね、今回の新スマート物流の長期実証実験となった。

本取り組みは、総務省の「過疎地域持続的発展支援交付金」*2を活用した取り組みです。

2. 目的

雲南市では、先述の諸課題の解決に向けて、ドローン技術を活用した「新スマート物流」の実装に向け、医薬品配送をはじめとする配達代行、オンデマンド配送、異なる物流会社の荷物を一括して配送する共同配送などのサービス導入を検証する。ドローン技術の活用は、無人化、無在庫化を促進し、ラストワンマイルの配送効率の改善という物流面でのメリットだけでなく、新たな物流インフラの導入であり、物流改革という側面から人口減少、少子高齢化による労働力不足、過疎地域における医療問題や交通問題、災害対策等、地域における社会課題の解決に貢献するとともに、利便性や生活の質向上による住民やコミュニティの満足度を引き上げることが可能となり、地域の活性化を図ることが期待される。

また、長期的には、物流に加えて有害鳥獣対策や災害対策等、あらゆるシチュエーションでドローンが住民の暮らしをサポートするシステムを構築するとともに過疎地域における新たなビジネスモデルを確立し、少子高齢化や人口減少に伴う労働人口の減少や地理的条件不利性といった課題を解決し、持続可能な地域の実現を目指す。

*1 新スマート物流SkyHub®

エアロネクストとセイノーHDが共同で開発し展開する、既存物流とドローン物流を繋ぎこみ、地上と空のインフラが接続されることで、いつでもどこでもモノが届く新スマート物流のしくみ。

ドローン配送が組み込まれた、オープンプラットフォームかつ標準化したしくみで、ドローンデポ®を拠点に、地域の抱える社会課題の解決に貢献するため、地域内のモノや人の動きを効率化、最適化し、SkyHub®システムをベースにした買物代行、オンデマンド配送、医薬品配送、異なる物流会社の荷物を一括して配送する共同配送や貨客混載などのサービスを提供する。

*2 過疎地域持続的発展支援交付金

雲南市の「地域課題の解決に貢献する新スマート物流の構築」が過疎地域持続的発展支援交付金に採択され、今回の取組みもその事業の一環。

*3 物流専用ドローン AirTruck

株式会社エアロネクストがACSLと共同開発した日本発の量産型物流専用ドローン。エアロネクスト独自の機体構造設計技術4D GRAVITY®により安定飛行を実現。

日本では各地の実装地域や実証実験で飛行しトップクラスの飛行実績をもち、海外ではモンゴルで標高1300m、外気温-15℃という環境下の飛行実績をもつ（2023年11月）。詳細は次ページをご参照ください。



物流専用ドローン“AirTruck”

今回使用する物流専用ドローン（AirTruck）について



株式会社NEXT DELIVERYの親会社である株式会社エアロネクスト独自の機体構造設計技術4D GRAVITY®を搭載し、飛行部と荷物搭載部が分離した構造の、飛行性能、応答性能、着陸性能に優れた物流用途に特化した最新の物流専用ドローン。

<特徴>

- 1) 荷物を機体の理想重心付近に最適配置
- 2) 水平定常飛行・前進特化型の物流専用機体
- 3) 独立変位可能な荷物水平維持機構

詳細スペック			
展開時寸法	1.7×1.5 ×0.4m	最大飛行 時間	約50分*1
機体重量	10kg	最高速度	40km/h
最大離陸重量	25kg	最大飛行 距離	20km
ペイロード	最大5kg	搭載Boxサイズ	W320×D 260×H20 0



エアロネクストの
物流専用ドローン



物流専用ドローンの荷物部分